



事前のお知らせ

西武新宿線の立体化の早期実現に向けて 熱い思いを一つに！

～ 『西武新宿線立体化促進協議会』の結成大会を開催します～

と き 1月25日(日) 午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

と ころ 区立上石神井小学校 体育館(練馬区上石神井4-10-9)

25日(日)、区は、区立上石神井小学校(上石神井4丁目)で「西武新宿線立体化促進協議会」設立にあたって、結成大会を開催します。

西武新宿線の区内全区間を含む、井荻から東伏見駅付近の鉄道立体化の早期実現と、「外環の2」を始めとした南北道路の整備等にあわせた沿線地域におけるまちづくりの推進を図ることが目的です。

区民、区議会、区が一体となって 国や東京都、鉄道事業者に対し要請活動に取り組みます。あわせて、区として沿線地域のまちづくりを推進することにより、早期に鉄道立体化を図るよう、働きかけていきます。鉄道立体化の早期実現のためには、地域の力を結集し、区を挙げて取り組むことが重要です。当日は、多くの地域住民の方々が参加する予定です。

【結成大会内容について】

当日は、協議会結成までの経過報告、結成宣言等を行います。

会場の外では、ねり丸と一緒に家族そろっての写真撮影も楽しめます。

【西武新宿線の現状】

区内の西武新宿線には、13箇所の踏切が存在し、交通渋滞の発生や、踏切事故の危険性、地域の分断による生活の不便や沿線地域のまちづくりの遅れなどの問題を引き起こしています。

複数の踏切を同時に除却することで道路ネットワークの形成を促進し、地域の活性化にも資する連続立体交差化が求められています。

【区内全区間を含む井荻～東伏見駅付近について】

区内全区間を含む、井荻～東伏見駅付近について、東京都は、平成16年6月に策定した「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」として位置付けています。その後、東京都は、平成20年6月に、この区間について連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付け、事業化に向けた取組を進めるとしています。

【鉄道立体化の早期実現に向けた区のこれまでの取り組み】

鉄道立体化の実現にあたっては、周辺の道路や駅前広場の整備など、沿線のまちづくりを一体的、総合的に進めることが重要です。上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅の3駅の周辺地区では、それぞれ、地域住民によるまちづくり協議会において、鉄道立体化を見据えたまちづくりの方向性が取りまとめられました。区は、これを受けて、各駅周辺地区の「まちづくり構想」を策定し、これらの構想の実現に向けたまちづくりの検討を地域の皆様と一緒に進めています。



【上石神井第1号踏切(上石神井駅南口)】

「西武新宿線立体化促進協議会」結成大会 案内図



※会場の都合等により駐車場のご利用ができませんので、お車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ】都市整備部 交通企画課長 中田 幸宏 電話03-5984-1549